

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ナカボーテック

コード番号 1787 URL <http://www.nakabohtec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江藤 勝利

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 野原 靖之

TEL 03-5541-5805

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,974	3.1	△375	—	△354	—	△220	—
23年3月期第2四半期	2,884	△13.2	△399	—	△379	—	△227	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△42.69	—
23年3月期第2四半期	△44.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	6,802	4,775	70.2	923.39
23年3月期	8,082	5,156	63.8	997.01

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,775百万円 23年3月期 5,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	10.6	530	56.5	560	49.4	310	60.1	59.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	5,205,000 株	23年3月期	5,205,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	33,537 株	23年3月期	33,508 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	5,171,471 株	23年3月期2Q	5,172,462 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	7
（4）継続企業の前提に関する注記	8
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
5. 補足情報	9
四半期受注・売上・受注残高内訳表	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における当社の状況につきましては、東日本大震災のあと受注が停滞する厳しい事業環境にありました。

被災した設備の復旧は民間を中心に進みましたが、公共事業関連につきましては、1次、2次補正予算が成立したものの、その効果は限定的で、総じて低調に推移いたしました。また、生産の回復に比べ、民間の設備投資は慎重な動きに終始いたしました。

このような状況のなか、当社は、震災からの復旧・復興の要請には速やかに対応するとともに、引き続き調査業務や提案営業の推進を通じて受注の確保に努めてまいりましたが、当第2四半期累計期間における受注高は前年同期に比べ472百万円減少の4,133百万円となりました。売上高は前期からの繰越工事の寄与により同90百万円増収の2,974百万円となりました。結果、受注残高は前年同期比283百万円減少の2,780百万円となりました。

損益面では、売上高が第4四半期に偏る事業特性から経常損失は354百万円（前年同期379百万円の経常損失）となり、特別損益及び法人税等控除後の四半期純損失は220百万円（同227百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末に比べ1,279百万円減の6,802百万円となりました。主な減少要因は完成工事未収入金及び売掛金の減2,393百万円であり、主な増加要因は関係会社預け金の増610百万円、未成工事支出金及びその他のたな卸資産の増525百万円であります。

負債につきましては、同898百万円減の2,027百万円となりました。主な減少要因は支払手形及び工事未払金の減857百万円であります。

純資産につきましては、同380百万円減の4,775百万円となりました。これは主に四半期純損失220百万円と支払配当金155百万円による利益剰余金の減375百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前事業年度末に比べ486百万円増加し2,475百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減の主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動で獲得した資金は668百万円（前年同期は477百万円の資金獲得）となりました。資金の主な増加要因は売上債権の減2,452百万円であり、資金の主な減少要因は仕入債務の減841百万円、未成工事支出金及びその他のたな卸資産の増525百万円、税引前四半期純損失355百万円、法人税等の支払額99百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は27百万円（前年同期は45百万円の資金使用）となりました。この内主なものは事業活動に必要な有形固定資産の取得であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は154百万円（前年同期は123百万円の資金使用）で、主に配当金の支払いによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年8月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	468,407	344,377
受取手形	454,188	396,079
完成工事未収入金	3,591,468	1,418,802
売掛金	534,604	313,372
商品及び製品	235,681	434,459
未成工事支出金	72,503	394,328
材料貯蔵品	55,558	60,453
繰延税金資産	144,149	288,682
関係会社預け金	1,520,300	2,130,695
その他	61,591	69,349
貸倒引当金	△43,062	△20,007
流動資産合計	7,095,391	5,830,593
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	222,055	207,294
その他（純額）	227,042	233,235
有形固定資産合計	449,097	440,529
無形固定資産	31,633	29,320
投資その他の資産		
繰延税金資産	288,403	291,705
その他	230,037	221,841
貸倒引当金	△12,165	△11,240
投資その他の資産合計	506,275	502,306
固定資産合計	987,006	972,156
資産合計	8,082,398	6,802,750
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,007,986	534,832
工事未払金	629,952	245,550
未成工事受入金	9,402	42,291
完成工事補償引当金	9,972	10,072
工事損失引当金	31,837	85,150
賞与引当金	234,000	220,000
役員賞与引当金	27,000	—
その他	319,696	257,157
流動負債合計	2,269,847	1,395,055
固定負債		
退職給付引当金	594,603	575,764

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
役員退職慰労引当金	37,150	31,070
資産除去債務	24,782	25,588
固定負債合計	656,535	632,422
負債合計	2,926,383	2,027,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	866,350	866,350
資本剰余金	753,385	753,385
利益剰余金	3,542,931	3,167,020
自己株式	△17,434	△17,451
株主資本合計	5,145,231	4,769,303
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,783	5,969
評価・換算差額等合計	10,783	5,969
純資産合計	5,156,014	4,775,272
負債純資産合計	8,082,398	6,802,750

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高		
完成工事高	2,267,499	2,285,094
製品等売上高	616,743	689,783
売上高合計	2,884,242	2,974,878
売上原価		
完成工事原価	2,113,118	2,168,622
製品等売上原価	352,224	391,854
売上原価合計	2,465,343	2,560,476
売上総利益		
完成工事総利益	154,380	116,472
製品等売上総利益	264,518	297,929
売上総利益合計	418,899	414,401
販売費及び一般管理費	818,560	789,924
営業損失(△)	△399,661	△375,522
営業外収益		
受取利息	12,020	10,998
その他	8,390	9,576
営業外収益合計	20,410	20,575
営業外費用		
営業外費用合計	127	46
経常損失(△)	△379,377	△354,993
特別利益		
貸倒引当金戻入額	27,611	—
特別利益合計	27,611	—
特別損失		
固定資産除却損	1,111	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,767	—
特別損失合計	15,878	212
税引前四半期純損失(△)	△367,645	△355,205
法人税、住民税及び事業税	△139,976	△134,440
法人税等合計	△139,976	△134,440
四半期純損失(△)	△227,668	△220,765

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△367,645	△355,205
減価償却費	40,172	36,120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,611	△23,979
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△512	100
工事損失引当金の増減額(△は減少)	34,415	53,313
賞与引当金の増減額(△は減少)	△100,000	△14,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,000	△27,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,708	△18,839
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,575	△6,080
受取利息及び受取配当金	△13,270	△12,508
固定資産除却損	1,111	212
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,767	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,695,103	2,452,007
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△340,177	△321,824
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	△19,613	△203,673
仕入債務の増減額(△は減少)	△979,508	△841,659
未成工事受入金の増減額(△は減少)	10,769	32,889
その他	△109,987	5,366
小計	807,147	755,237
利息及び配当金の受取額	13,270	12,508
法人税等の支払額	△343,356	△99,637
営業活動によるキャッシュ・フロー	477,062	668,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,698	△2,902
有形固定資産の取得による支出	△35,553	△18,985
無形固定資産の取得による支出	△7,250	△5,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,502	△27,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△17
配当金の支払額	△123,897	△154,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,897	△154,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	307,661	486,365
現金及び現金同等物の期首残高	2,121,920	1,988,708
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,429,582	2,475,073

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

四半期受注・売上・受注残高内訳表

1. 受注高

(単位:千円)

区 分	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増 減 金 額	(参考)前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
工 事 部 門 製品等販売部門	3,858,513	% 83.8	3,396,609	% 82.2	△ 461,904	7,844,189	82.5
	746,876	16.2	736,764	17.8	△ 10,111	1,661,855	17.5
合 計	4,605,390	100.0	4,133,373	100.0	△ 472,016	9,506,045	100.0

2. 売上高

(単位:千円)

区 分	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増 減 金 額	(参考)前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
工 事 部 門 製品等販売部門	2,267,499	% 78.6	2,285,094	% 76.8	17,595	7,619,730	82.6
	616,743	21.4	689,783	23.2	73,040	1,606,723	17.4
合 計	2,884,242	100.0	2,974,878	100.0	90,636	9,226,453	100.0

3. 受注残高

(単位:千円)

区 分	前第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)		当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日)		増 減 金 額	(参考)前事業年度末 (平成23年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
工 事 部 門 製品等販売部門	2,790,803	% 91.1	2,535,763	% 91.2	△ 255,040	1,424,248	87.8
	273,091	8.9	245,072	8.8	△ 28,019	198,091	12.2
合 計	3,063,895	100.0	2,780,835	100.0	△ 283,059	1,622,339	100.0